

探究・校務改革
支援補助金
2025

令和6年度補正予算
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社クアリア

【サービス名称】

探究学習フィードバックシステム“Qareer”

【サービスの支援項目】

カテゴリ-1 探究的な学びの高度化 メインサービス



2026年1月

1. サービスの概要、特徴

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

Qareerは、課題「**生徒の探究は止まり、学びが深まらない**」を解決するためのWEBシステム。

- ・生徒は、探究の進捗（振り返り）へ即座にフィードバックを得られ、探究を深める視点を得られる。
- ・ユーザー評価「探究の行動指針になった 95% (n=2507)」の自社知見を活かした探究用AIへ、上限なく相談可能。
- ・先生は、一人ひとりを見取り、フィードバックできるため、指導の質向上と業務効率化を実現。



(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

・生徒アンケート「Qcareerを利用して感じることを教えてください。」

探究の進め方や考え方のコツが分かってきた 78.4% (とてもあてはまる+あてはまる)

探究がやりっぱなしにならず、振り返りながら進められている 77.7% (とてもあてはまる+あてはまる)

(3) サービスの活用場面

総合的な探究の時間 <授業中>

→ 生徒「AIクアリアちゃんへ相談」

総合的な探究の時間 <授業終了5分前>

→ 生徒「探究のリフレクション 投稿」

総合的な探究の時間 <授業終了後>

→ 先生「生徒のリフレクション」を見取り、フィードバック

(4) 1サービスあたりの標準販売価格

・生徒一人あたり税込2970円/年

*もっとも多い活用形態での価格。

*利用準備は学校内で負荷なく行えるため、別途でのサポート料等は設けておりません。

2. サポート内容(サービスの利用に際しての自社のサポート体制等)

・生徒向け講演や、教員向け研修などが実施可能

課題

生徒の探究はどうしても止まりがち。

解決できない理由 リソース不足で先生は生徒一人ひとりの見取りや後押しをしきれない。



Qareerのアプローチ

AIによる振り返り支援と学習ログの蓄積で、
生徒の思考を前に進め、教員の指導を支える。

児童生徒・教職員が抱える課題

- (生徒) 探究している際に、何を考えれば良いかわからなくなり、学びが止まってしまう
- (先生) 学びが止まっている生徒を支援したくても、人的リソース不足で後押ししきれない
- (先生) 支援が必要な生徒を把握しても、どのように後押しして良いか悩む



サービスが果たす役割


- (生徒へ) AIクアリアちゃんが、第二の先生としていつでも相談可能
- (生徒へ) 探究が進むフィードバックを振り返りに対して行い後押し
- (先生へ) 初手の相談やフィードバックをAIが代替することで指導をサポート

サービスの活用風景・授業の流れ <導入校の困り>

1.総合的な探究の時間 授業中
生徒個々が問いをたて、
探究を進めるカリキュラムだが…

2.総合的な探究の時間 授業終了5分前
探究を進める上での
振り返りの大切さはわかっているが…


3.授業終了後
丁寧に生徒の状況を把握し、
次回授業に活かすべきだが…



<実態>
生徒1人1人を
個別に後押しできない

↓


<考えるべき点>
個別支援できる仕組み
をどう作る？



<実態>
生徒にとっては
振り返りがただの作業に

↓

<考えるべき点>
生徒の振り返りの仕組み
をどう作る？



<実態>
教員の
見取りの負担感が大きい

↓

<考えるべき点>
教員の見取りの仕組み
をどう作る？

サービスの活用風景・授業の流れ <活用の様子>

1.総合的な探究の時間 授業中

AIと相談しながら、探究を進める。

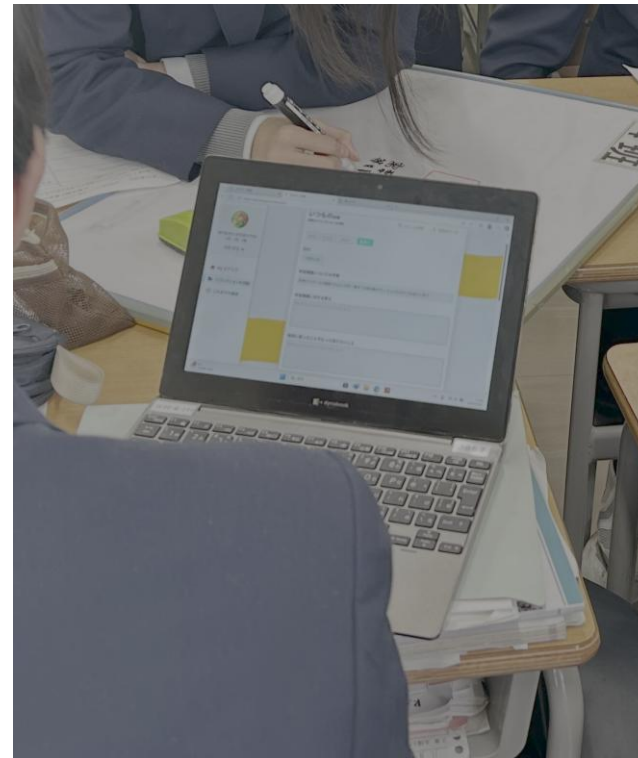
→先生1人でも個別支援できる環境へ



2.総合的な探究の時間 授業終了5分前

今日の取り組みをリフレクション。

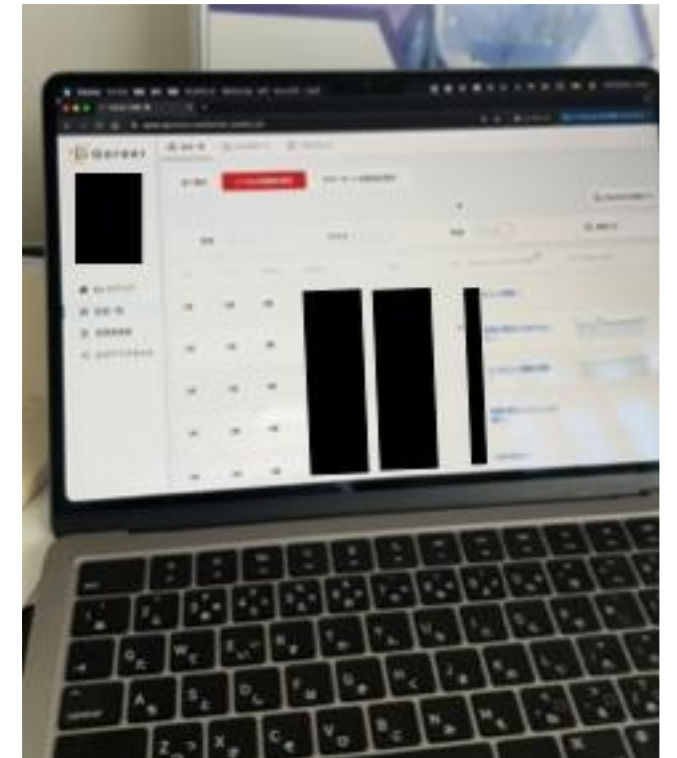
→WEBで完結させスムーズな運用へ



3.授業終了後

先生が投稿内容を確認。

→負荷なく見とれる運用へ



本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	4	学校等教育機関数	4校
---------------	----------	-----------------	-----------

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	国立大学法人鳴門教育大学	鳴門教育大学附属中学校	徳島県	中学校	1	総合的な学習の時間
2	学校法人星美学園	静岡サレジオ中学校	静岡県	中学校	1	総合的な学習の時間
3	学校法人A	私立A中学校	大阪府	中学校	3	総合的な学習の時間
4	学校法人B	私立B高等学校	大阪府	高等学校	1	総合的な探究の時間

定量的/定性的
効果検証から
見える導入効果

生徒アンケート / n=241

① 振り返りを通して、自分の探究を前に進められるようになる

- 自分の探究活動を気軽に言語化・記録できるようになる
- 振り返りに対してAIから即時に問いや助言を受けることで、「書いて終わり」ではなく、次に何を考え・どう進めればよいか分かるようになる
- その結果、学びが深まり、自分の成長を実感しながら探究を継続できるようになる

② 他者やAIの視点を取り入れながら、探究を深められるようになる

- 他の生徒の投稿を見ることで、多様な視点・問いの立て方・探究の進め方を学べるようになる
- AIからのフィードバックにより、一つの考えに固執せず、多角的に考え直すことができるようになる
- 行き詰まった場面でも、視点を切り替えながら思考を広げ・深めることができるようになる

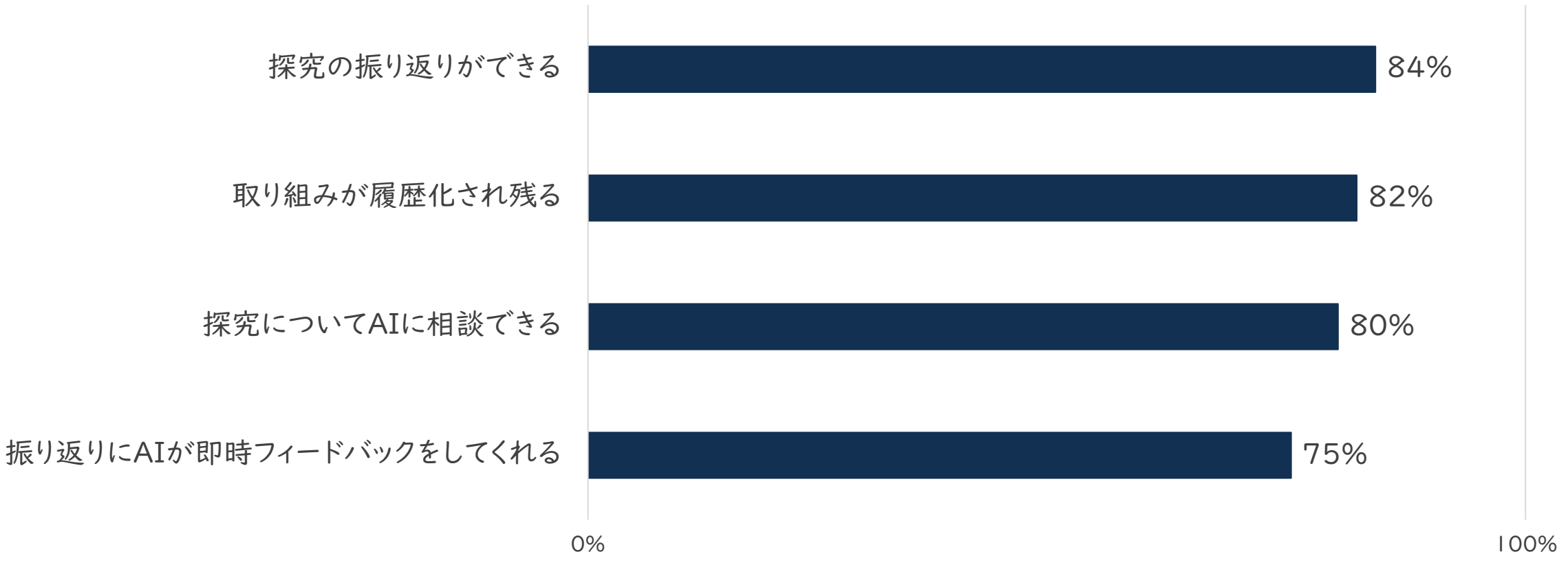
③ 迷ったとき・止まったときでも、探究を止めずに進められるようになる

- 考え始められないときや、判断に迷ったときに、AIにいつでも相談できる環境があることで安心して取り組めるようになる
- AIとの対話を通して、考えを整理し、次の一步を自分で決められるようになる
- 同じところで考え続けてしまう状態を避け、探究を継続的に前進させられるようになる

定量的効果検証
生徒アンケート / n=241

Qcareerでできることについて、教えてください。

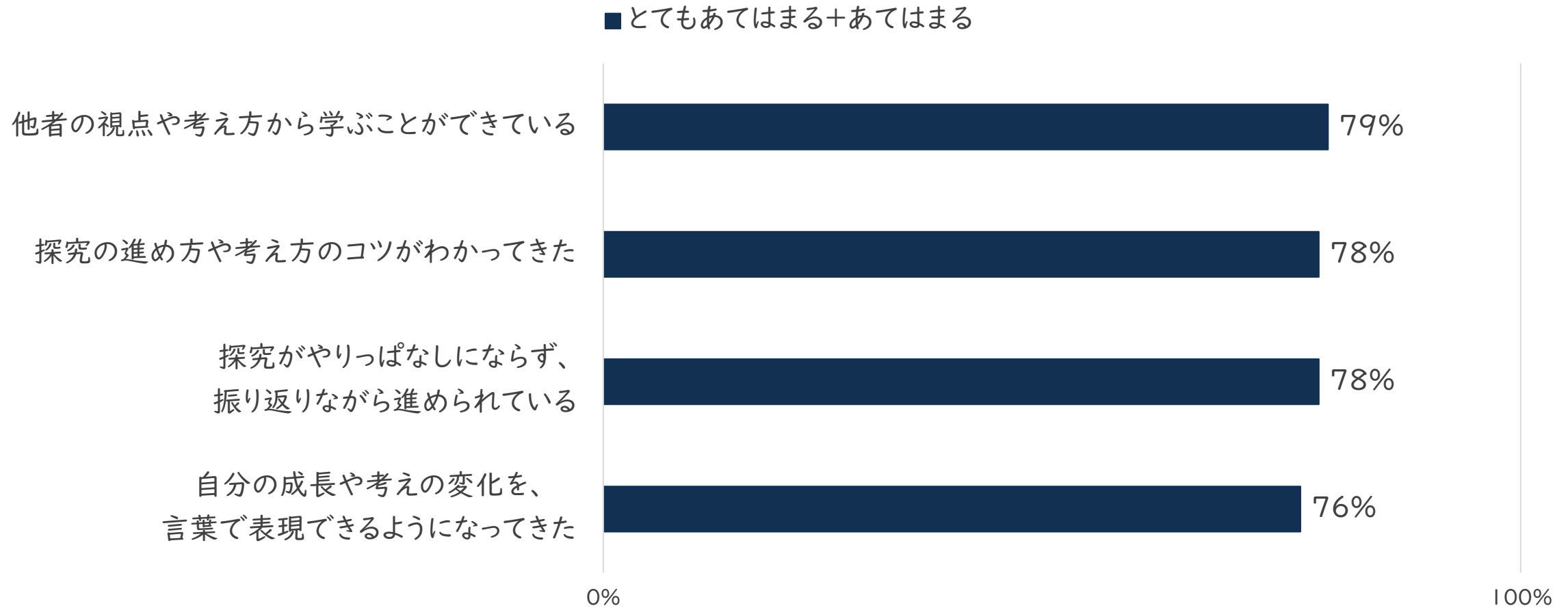
■ とても良い、良い



定量的効果検証

生徒アンケート / n=241

Qcareerを利用して感じることを、教えてください。



定性的効果検証

生徒アンケート / n=241

Qareerを利用して感じることを、教えてください。

- 自分の投稿も入れることができ、自分だけでなく他人の投稿も見れるのでとても便利だと思った。
- 他の人の投稿が見れて、AIがフィードバックしてくれるのがありがたい。
- 自分の探究を前に進めるための後押しをしてくれているので、とてもやりやすく、活動が捗る。
- 振り返りをするとすぐにAIが質問をしてくれるのでさらに学びが深まると思いました。
- 友達の振り返りを見れたり、誰でも簡単にいれることができるのがいい点
- AIクアリアちゃんと楽しく相談できるのが好き
- 課題についてあらゆる視点からのアドバイスが貰えるので考えが深まります。
- AIにいつでも相談できるのがすごく便利で、意見を迷っているときや考え始めるとき全く考えが出ないときにつかうことで同じことをずっと考えて先に進めないことがなくなった。



クアリアを活用した教員の感想をお送りします。

〈生徒にとって〉

- 生徒が分からないことや知りたいこと他者を気にせず、率直に AI クアリアちゃんに尋ね、答えやアドバイスを得ながら、主体的に課題解決ができた
- 自分の学びのプロセスが蓄積され、可視化できることで、生徒の自己効力感や達成感、次への学習意欲につながった
- 他者のコメントを共有することで、視点が増えたり、学びの様子が参考にでき、自己の学びに繋げたりできた
- 学習の予想や振り返りが短時間で効率良くでき、生徒の主体的な学びが実現できた
- クアリアちゃんが生徒にとって親しみやすく、学びのパートナーになった
- 生徒が「自分の言葉」で考えを残せるため、探究の初期段階の“もやもや”も肯定的に扱えた
- ICT が苦手な生徒でも直感的に操作でき、学びのハードルが下がった
- 自分の興味関心の広がりが見えるため、探究を自分で決めやすくなった

〈教師にとって〉

- 教師が1人1人の困り感に対応することが物理的に難しいという課題をクリアできた
- 生徒の学んだ度やワクワク度を見ることで、教師が授業を振り返ったり生徒の支援をしたりすることができた
- 生徒の思考したことや学びのプロセスが把握できることで、教師の見取りに活用できた
- 生徒の「内的なつながり」や生徒の価値観が見えてよかった

本事業でQareerを導入した学校より

直面した課題

解決するための改善策

導入時

生徒や教員への活用方法説明について、
担当教員に一定の準備負荷がかかっている



チュートリアル機能を強化。
活用前の負担間も減らしていく

実施中

担当教員が活用を推進しても、
校内の利活用状況が捉えづらい



活用履歴の可視化を強化。
校内で利活用状況を把握しやすくする

新たな
課題

活用が進めば進むほど
学習データ活用の期待は高まる。
一方で、効果的な利活用方法は未知数



実際のデータを材料に利用校と意見交換し、
効果的な活用方法を探索。
プロト機能を開発しながら実装を進めたい

社名	株式会社クアリア
代表	芦野恒輔
設立年月	2022年9月
本社	東京都渋谷区神宮前六丁目23番4号 桑野ビル2階
資本金等	(非公開)
売上高等	(非公開)
従業員数	(非公開)
事業内容	探究学習フィードバックシステム“Qareer”の運営
お問い合わせ窓口	本件に関する担当: 芦野恒輔 電話: 090-7661-0917 mail: support@qareer.jp